

携帯電話の購入と保有に関する定量分析

差分方程式によるフィーチャーフォンからスマートフォンへの移行分析

東京大学 経済学研究科 齋藤経史

本稿においては差分方程式によってフィーチャーフォンからスマートフォンへの移行の分析を行う。携帯電話に関する購入・利用の実態は、モニターに対するインターネット調査によって、実施されることが一般的となっている。しかし、モニター型のインターネット調査はモニターの代表性の問題に加えて、インターネットが利用できない者は調査対象外になる等の問題が指摘されている。

このため、本稿ではインターネット調査の結果を直接利用せず、携帯電話の端末出荷数、契約総数などの公表データを用いて携帯電話の購入と保有に関する分析を行った。なお、携帯電話の非利用者および二台持ちを明示的に分析に取り込むことで、日本の居住者全体の携帯電話の利用動向やスマートフォンの普及率を推計した。